

提言書



株式会社タカヤ 未来創造事業 SDGs アクション 2021

【タカヤ×現役大学生 意見交換会】

～持続可能な故郷の未来へ向けて～

【はじめに】

株式会社タカヤは、人口3万人を切る秋田県鹿角市に本社があり、11年後に迎える創業100周年以降も持続可能な会社であるための企業戦略を練っております。創業100周年以降を見据えたときに「今のうちに考え実行しなければならないことが何であるか」ということについて、未来を担う若者と意見を交わしたいという思いがあり、現役大学生との意見交換会を実施致しました。

具体的には、企業の持続性と地方地域の維持存続や発展は両輪であると言われる中で、既に中央地域との格差が大きく進み衰退が進んでいる地方地域と、そこに存在する企業とは、どの様に向き合っていくことが出来るのか、ということにおいても、この先10年後には社会を担っていく若者と率直な意見交換を行いました。今回のような意見交換が活発に行われていくことで、地方地域・若者・企業の今後の「在り方未来像」なる道標が出来上がっていくものではないかと考えております。

この度、全4回の意見交換会を行った証と成果として「故郷を持つ若者」「地域」「大人」という観点からの提言をさせていただきます。

このアクションが持続可能なふるさとの未来と幸福感ある暮らしの実現に繋がるものと信じております。



株式会社タカヤ
代表取締役社長 高谷秀和

提言に至る意見交換会での共通認識について

より広い世界で研鑽を積み、見分を拓げ、日本や世界というステージで活躍できる可能性のある若者を「人口減少を食い止めなければならない」という理由で安易に繋ぎとめることだけに捉われることは、結果的に地域の衰退に繋がっていくと考えます。何故なら、何時の時代も地域はもとより日本を豊かにする力となってきたのは、世界へ飛び出し活躍してきた若者たちだからです。

郷土愛（故郷を大切にする心）を育むことは必要で、現在の義務教育の中では非常に熱心に郷土愛醸成のための教育が為されていると思われます。一方で、郷土愛が即ち「生まれた場所に一生留まっていること」ではないのですが、人口減少と若者の流出という問題と郷土愛をリンクさせてしまっている感は否めないとも感じております。

私たちは意見交換会を通じて、「物理的に今この瞬間に故郷に居ることだけが地域への貢献や郷土愛の表れ」ではなく、故郷から飛び出して学びを得て、様々な繋がりを持ち、経験を積むことは、故郷に居ることと同様に故郷の力になるのだという認識を新たにしました。実際に、意見交換会に参加した全ての学生が将来は自分の故郷の為に何か力になりたいと考えていました。例えば、各専門分野で日本を代表するような活躍をしている地方出身者が沢山存在していると思われますが、その人達が将来的にその知識や経験や人的ネットワークを自分の故郷の力として活かすことは大いに可能だと考えられます。そういった地方出身者の力を地域の力に結びつけることが可能になる仕組みづくりとの両輪であることを前提に、故郷からより多くの各界で活躍し得る人財を送り出していく、育てようとする積極的な姿勢と取組が必要であると考えました。郷土愛を醸成する教育を引続き行っていくことにより、日本や世界で活躍し得る若者は将来、必ず自分の故郷の力になろうとすると確信しています。若者が外に出ていくことを大人は恐れてはならないのではないのでしょうか。

提言

【地方・故郷・大人の在り方】

提言「向上心を持って外に出る若者を応援しよう」

元来、向上心とチャレンジ精神を持っている、或いは醸成出来得る若者を、世界へ放つことが結果的に地方を支える力になるという長期的なビジョンを描くことを提言したい。

【地方出身の若者の在り方】

提言 「人生の選択肢を広げよう」

人生に選択肢を沢山持ち合わせることで、人生は豊かになるが、見聞の幅が狭ければ選択肢も狭くなる。故郷に止まることで人生の選択肢が狭まるとすれば、大いに外へ出て自分の人生を豊かにし、故郷の力となって欲しい。

【結びに】

株式会社タカヤは仙台をはじめとする東北一円を事業エリアとし、「幸福感を追求する複合企業」として事業拡大が進んでおります。私たちが目指しているのは、もうじき迎える創業100年以降も必要とされ続ける永続的な会社であります。企業が永続するには、お客様・従業員・地域の方々・取引先様に必要とされ続けなければなりません。その為に、「そこに住み暮らす人々の幸福感ある暮らしの実現に寄与する」の経営理念のもと、今の時代を生きるタカヤと関わっている人たちと一緒に、愛され続ける会社を作って行きたいという思いで経営をしております。

この先も無限の可能性を秘めた子どもたちの為に、愛する故郷の未来の為に私たちが出来ることを一つ一つ具現化しながら、成長して参ります。

また今後も継続的に様々なバックグラウンド、価値観を持つ若者との意見交換の場を設け、多岐に渡る意見を交わしながら、持続可能な未来に向けて企業として取り組んで参ります。

英知と勇気と情熱を持って 共に前へ未来へ！

【意見交換会実施内容】

株式会社タカヤ 未来創造事業

Takaya's SDGs Action 2021「タカヤ×現役大学生 意見交換会」全4回

日時：第1回2021年 6月21日 テーマ「故郷と自分」

第2回2021年 9月28日 テーマ「地方企業と地域」

第3回2021年12月28日 テーマ「地方で若者が生きるための大事な事」

第4回2022年 2月28日 テーマ「地方地域・若者・企業の今後の在り方未来像の提言」

場所：株式会社タカヤ本社／横浜／東京／秋田市 ※リモートで実施

参加対象の学生

- ・秋田出身者で首都圏に出て行っている学生と秋田に残っている学生
- ・秋田以外の地域から首都圏に出ている学生

【参加者】

慶應義塾大学2年（環境情報学部） 松浦晃希さん 神戸市出身

慶應義塾大学2年（環境情報学部） 高谷秀聖さん 鹿角市出身

慶應義塾大学2年（法学部法律学科） 加藤 花さん 秋田市出身

秋田大学 2年（電気電子工学科） 長谷川叶さん 秋田市出身

株タカヤ 総務部 24歳 阿部智弘主任 鹿角市出身

株式会社タカヤ 代表取締役社長 高谷秀和
常務取締役 高谷香織
営業管理部長 佐藤操
運営管理部長 高澤康広
未来創造事業部 大山典子

第3回 特別ゲスト 秋田県議会議員 鈴木健太議員

